

冠婚葬祭産業等に関する調査及び研究に対する

助成公募について（お知らせ）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は何かとお世話になりありがとうございます。

さて、一般財団法人東海冠婚葬祭産業振興センターでは、東海地域の冠婚葬祭産業等の振興に関する調査および研究を行っている事業者・事業者団体・大学・研究機関・研究者等を支援し、冠婚葬祭産業等の健全な振興と伝統文化の継承、そして豊かで潤いのある地域社会の実現に寄与して参ります。

別添要綱により、助成の公募をいたしておりますので、関係部署の方にお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

敬 具

- 1、 応募期間 令和3年7月1日～9月30日
- 2、 応募方法 当財団事務局へ申請書類の送付を申し込んでください。
(当財団 HP のメールフォーム、FAX、郵便などにて)

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-7-20

一般財団法人東海冠婚葬祭産業振興センター

事務局担当者 本田 電 話 052-571-5021

FAX 052-571-5037

2021(令和3)年度一般財団法人東海冠婚葬祭産業振興センター

冠婚葬祭産業等(関連の伝統的工芸品を含む)に関する調査及び研究に対する助成公募

助成の主旨

冠婚葬祭の儀式は、古来から人々の社会生活の中で生まれ、歴史と伝統に根ざした我が国固有の伝統文化として、地域の特色を織り混ぜながら、永い歳月をかけて受け継がれています。

しかしながら、近年のライフスタイルの変化、核家族化、小子化等の現象に伴い、冠婚葬祭儀式の内容・形式も多様化するし、人々の関心も薄らぎつつあります。

そこで、当財団では冠婚葬祭産業等の振興に関する調査及び研究を行っている事業者・事業者団体・大学・研究機関等を支援し、冠婚葬祭産業等（冠婚葬祭関連の伝統的工芸品を含む）の健全な振興と伝統文化の継承、そして豊かで潤いのある地域社会の実現に寄与して参ります。

応 募 要 領

1. 助成の対象

1. 助成の対象

- ①冠婚葬祭儀式の歴史的意義、価値
- ②新たな時代にふさわしい儀式の在り方
- ③冠婚葬祭関連の伝統的工芸品の工芸技術・技法の保存及び伝承
- ④冠婚葬祭関連の伝統的工芸品の新分野開拓などの東海地域の冠婚葬祭産業等（冠婚葬祭関連の伝統的工芸品を含む）の振興に関わる調査及び研究
- ⑤その他東海地域の冠婚葬祭産業等の振興に関わる調査及び研究
- ⑥2022(令和4)年3月1日までに開始予定（既に開始済を含む）で、2024(令和6)年1月末日までに完了予定の調査及び研究

2. 助成対象外

- ①営利目的の研究
- ②既に終了した研究の成果を発表するための事業
- ③会議の開催自体を目的とする事業
- ④特定の政治団体・宗教団体のための研究
- ⑤当財団以外の助成対象となっている（予定も含め）調査研究

3. 申請者の資格

東海地域の冠婚葬祭産業等の振興に関する調査及び研究を行っている事業者・事業者団体・大学・研究機関・研究者

2. 助成金等

1. 助成金の額

助成金は、申請総費用の80%未満かつ1件100万円を限度とします。

2. 助成金の使途

助成金は、調査研究に必要な人件費、旅費交通費、資料費（書籍購入費を含）、印刷製本費等に使用することができます。なお、備品費は、助成申請金額の10%以内とします。

3. 助成金の交付

採用決定後より2022(令和4)年3月末日までに行います。

4. 被助成者の義務

- ①交付決定通知を受けた者は、助成金支出計画に沿って助成金を支出しなければなりません。
- ②助成期間終了後は完了報告書を作成し、提出する義務があります。
- ③調査研究の成果については、その要約版の印刷配布、講演会での発表等を求めることがあります。

3. 選考の基準

1. 方法

- ①申請受付期間終了後、個々の申請について、選考基準に基づき書類審査を行い評価をします。
- ②審査は、各項目ごとに評価を行うものではなく、各基準を通じて高い評価が得られるかどうかを総合審査し、「採・否」を決定します。

2. 選考基準

助成の対象に該当するもののうち、次の項目に沿って審査します。

- ①調査研究の目的・理念が明確であること
- ②調査研究の実施計画が具体的であること
- ③調査研究を推進する上での洞察力・実践力があること
- ④調査研究を遂行すること自体あるいはそれによって成果が期待し得ること

4. 応募の手続

1. 応募方法

- ①申請を希望される者は、当財団事務局(下記)あてHPの助成申請メールアドレス、FAX又は郵便(ハガキ可)にて申請書類の送付を申込みください。
住所・氏名・所属・電話番号を明記してください。
申請書類は、申込があり次第送付します。
- ②申請書類に必要な事項を記入の上、当財団まで書留にて郵送してください。

2. 応募期間

申請の受付期間は2021(令和3)年7月1日(木)～2021(令和3)年9月30日(木)
[財団必着]

3. 採否通知

- ①「採」「否」の結果は、文書で通知します。
- ②「採」「否」の理由については、一切お答えできません。

4. 注意事項

- ①上記1.～2.の手続きによるもの以外は、受け付けません。
- ②記載事項に不正な点が見られた場合には、審査しないことがあります。

〒451-0042

名古屋市西区那古野2-7-20

一般財団法人東海冠婚葬祭産業振興センター

電話052(571)5021

FAX052(571)5037

<http://www.tcoic.or.jp>

【これまでに調査研究助成を実施した調査研究テーマ】

| | |
|--------|--|
| 令和2年度 | 戦後皇室の結婚と葬儀―東海地方における反応を中心に― |
| 平成28年度 | 東海地域における結納の地域差と歴史に関する社会学的研究 |
| 平成27年度 | ① 弔いの近代日本経済史―東海地域と関西地域の比較研究― ② 東海地方のニュータウン居住者における年中行事・人生儀礼に関わる参拝行動の特性 |
| 平成23年度 | 東海地域における厄年儀礼の特徴・変遷及びその地域活性化に活かす方策に関する調査研究 |
| 平成22年度 | ① 愛知県吉良町華蔵寺所蔵黄檗版一切経の悉皆調査 ② 現代における七五三儀礼の実態と意義 |
| 平成21年度 | 東海地域における納骨信仰の発生と展開―永代供養納骨堂発生の起源と背景― |
| 平成20年度 | 近世前期幕藩体制における冠婚葬祭の変遷 |
| 平成19年度 | ① 墓石形態を指標とした埋葬者情報調査法の開発に関する研究 ② 格違い婚禁止法の形骸化と婚礼儀式 ③ 霊神碑信仰から見る東海地域の死者供養 |
| 平成18年度 | ① 東海地域における通過儀礼の特徴・変遷―離島の過疎化・少子高齢化を中心として― ② ウェディングケーキの歴史と現状 |
| 平成16年度 | ① 戦後の結婚式の変容と地域差に関する研究 ② 名古屋仏壇産業の活性化モデルの作成 |
| 平成15年度 | ① 東海ゆかりの作家を描く「めでたきもの」のテーマと冠婚葬祭について～日本における心象風景を背景とした作家たち～ ② 葬儀が対象過失による不適応からの回復に与える影響―葬儀価値観、死生観、精神的回復力がメンタルヘルスに及ぼす影響に関する心理学的研究― ③ 寺院の女性たちから見た東海地方の葬祭文化変容の現状分析 ④ 近世名古屋商人の結婚の実態について |
| 平成14年度 | ① 名古屋仏壇・仏具の研究 ② 明治・大正・昭和初期の近代日本画に見る冠婚葬祭―東海地方の閨秀画家・伊藤小坡を中心に― ③ 東海地方及び周辺部における葬送習俗の空間論的研究 ④ 情報化社会と婚礼市場の変化 |
| 平成13年度 | ① 庶民における冠婚葬祭の様相 ② 東海地方及び周辺地域の祭礼行事に見る模擬婚姻儀礼の研究 ③ 婚礼調度としての貝合せの研究 |
| 平成12年度 | ① 東海地域における家族・親族・コミュニティと通過儀礼についての実証的研究 ② 立川甚右衛門古文書調査による立川流知多一門の存在と実態解明 ③ 中世墓から三昧への変遷過程の基礎的研究 |
| 平成11年度 | ① 冠婚葬祭の歴史的民間宗教的意義と現代 ② 生前葬と自然葬のあいだ―伝統的葬祭の価値づけをめぐって― |
| 平成10年度 | ① 都市部と農村部における先祖祭祀の比較研究～伝統的先祖祭祀のありかたと現代的変容～ ② 近世大名婚礼調度の調査と研究 |
| 平成9年度 | ① 東海地域における葬送儀礼～伝統と未来をみつめて～ ② 冠婚葬祭に対する世代間の意識差に関する研究～価値観とマナーの関連性～ ③ 岐阜県における冠婚葬祭儀礼の伝統と変容に関する研究 ④ 東海地域における禅宗を中心とした葬送儀礼の形態調査 ⑤ 節句人形としての土人形の姿と変遷～起土人形を中心として～ ⑥ 江戸時代のブライダル（結婚） |
| 平成8年度 | ① 愛知北米移民者の結婚事情とその後 ② 出産儀礼：その地域的特色と変容について ③ 愛知県尾張地方の婚姻・産育儀礼から見た嫁の在所と婚家の関りについての一考察 |